

## 10 - 2 九州地方とその周辺の地震活動（2003年11月～2004年4月）

### Seismic Activity in and around the Kyushu Districts (November, 2003 ~ April, 2004)

気象庁・福岡管区気象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、九州地方とその周辺でM4.0以上の地震は44回、M5.0以上は4回発生した。このうち最大は、2003年12月5日及び28日に奄美大島近海で発生したM5.1の地震であった。

2003年11月～2004年4月のM4.0以上の震央分布を第1図に示す。

主な地震活動は以下の通りである。

#### (1) 日向灘の地震活動（M5.0，最大震度3，第2図）

2004年4月21日12時10分に日向灘の深さ25 kmでM4.7，その10分後の12時20分にM5.0（最大震度3）の地震が発生した。発震機構は共に、この付近では典型的な北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型（CMT解）で、陸のプレートとフィリピン海プレートとの境界の地震である。余震活動は約1日で収まった。日向灘では、津波を伴う地震が1923年以降、10～20年に1回程度の割合で発生している。最近では、1996年10月19日にM6.9，また同年12月3日にM6.7の地震が発生しており、共に10 cm程度の津波を伴った。

#### (2) その他の地震活動（第3図）

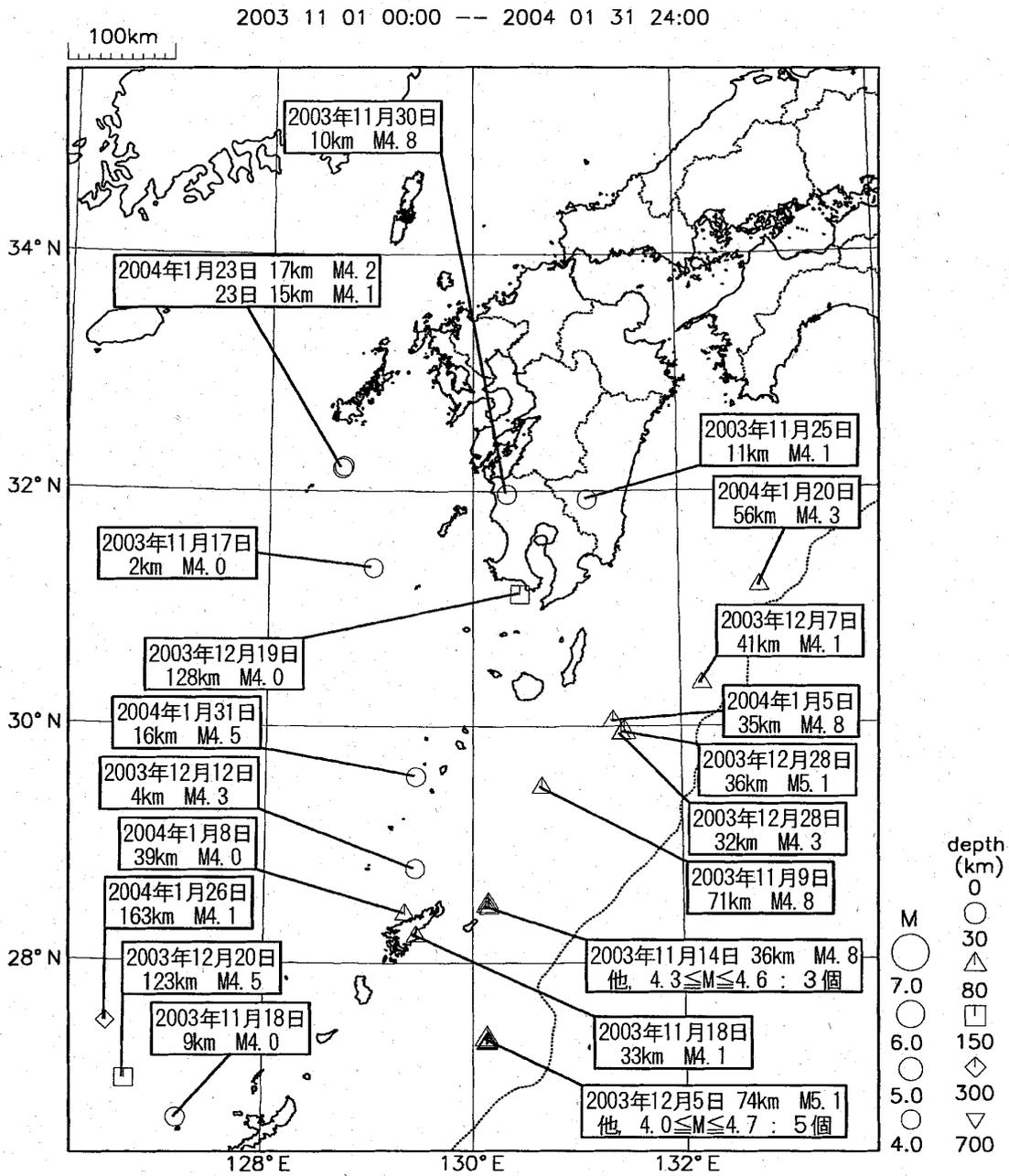
2003年

11月30日 鹿児島県北西部 [ 鹿児島県薩摩地方 ] M4.8，深さ10 km，震度4

2004年

3月1日 鹿児島県北西部 [ 鹿児島県薩摩地方 ] M4.6，深さ178 km，震度2

# 九州地方とその周辺の地震活動 (2003年11月~2004年1月、 $M \geq 4.0$ )

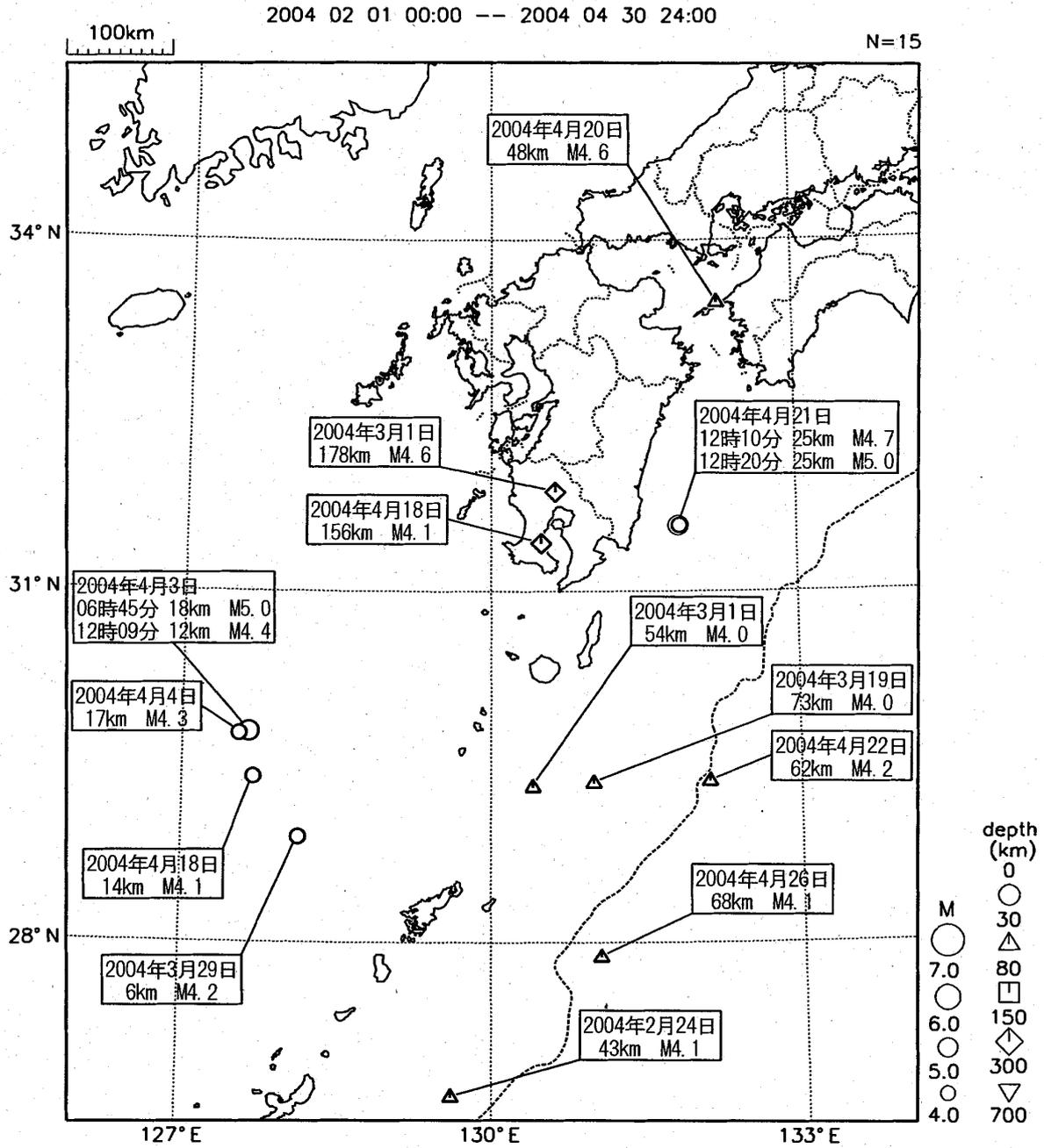


図中の吹き出しは、M4以上

第1図(a) 九州地方とその周辺の地震活動 (2003年11月~2004年1月,  $M \geq 4.0$ , 深さ 700 km)

Fig.1(a) Seismic Activity in and around the Kyushu district (November, 2003-January, 2004,  $M \geq 4.0$ , depth 700 km).

九州地方とその周辺の地震活動(2004年2月~4月、M $\geq$ 4.0)



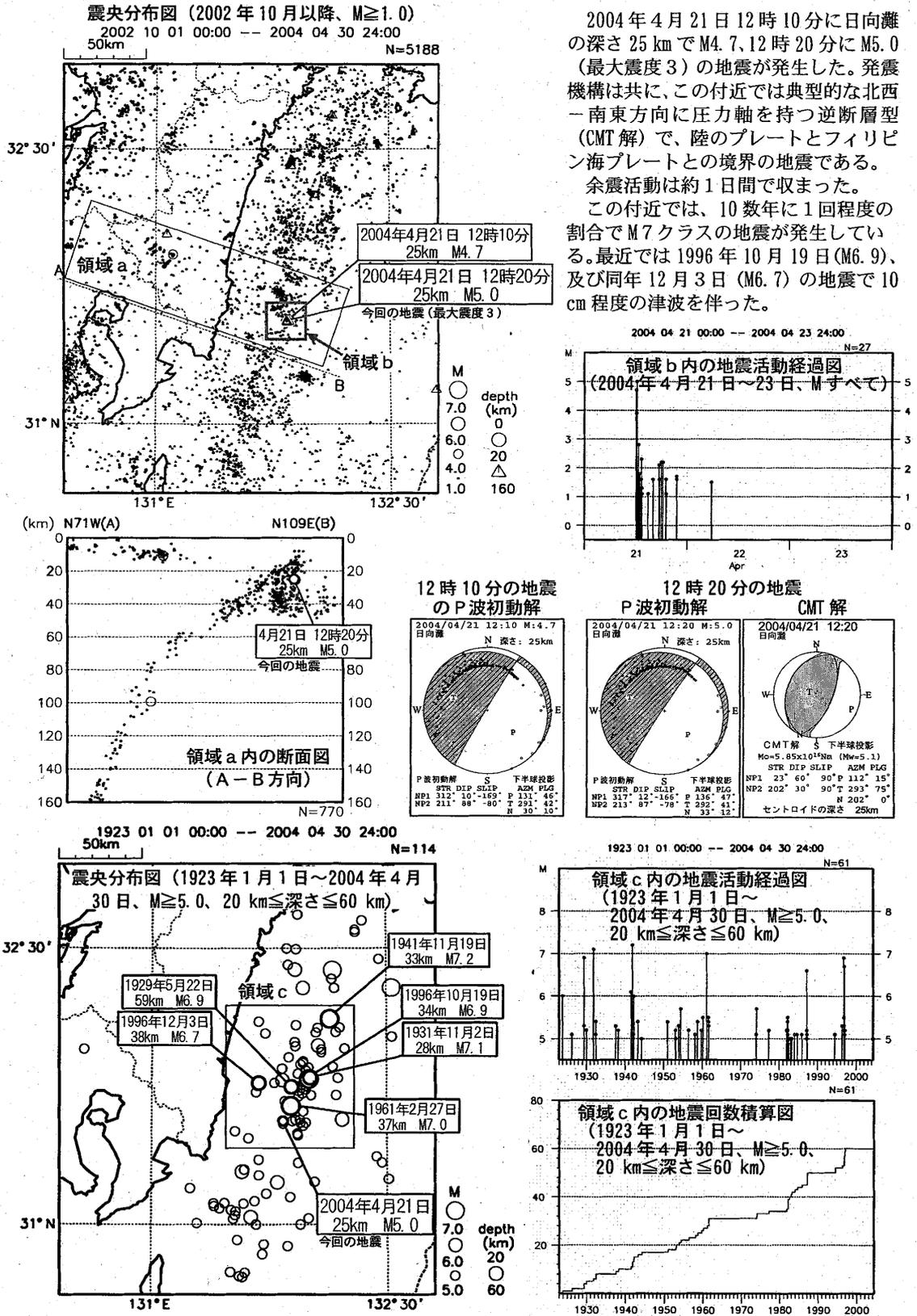
図中の吹き出しは、M4.0以上

気象庁作成  
(福岡管区気象台)

第1図(b) つづき (2004年2月~4月, M 4.0, 深さ 700 km)

Fig.1(b) continued (February-April, 2004, M 4.0, depth 700 km).

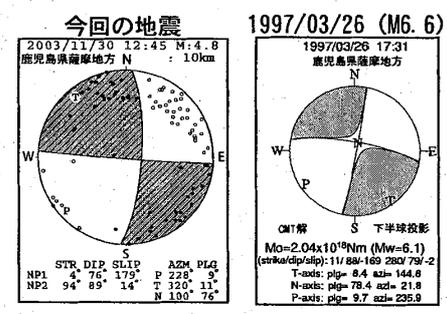
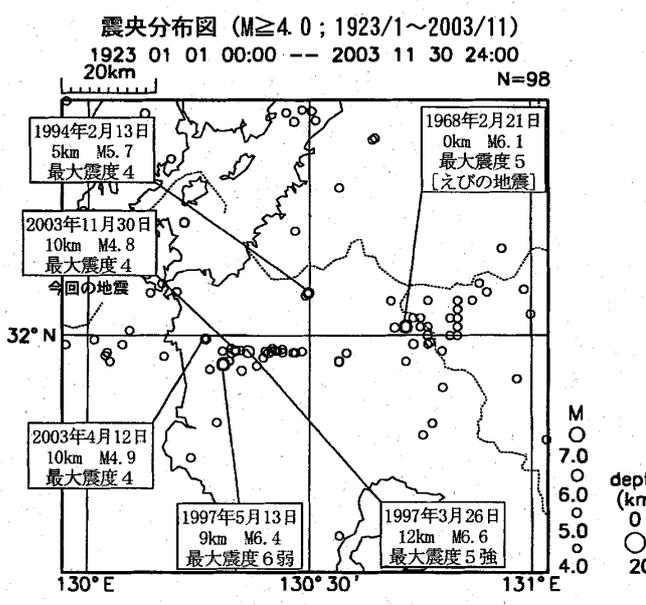
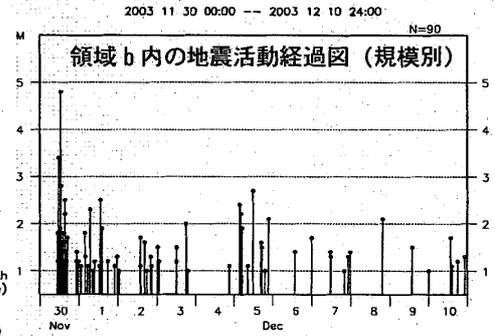
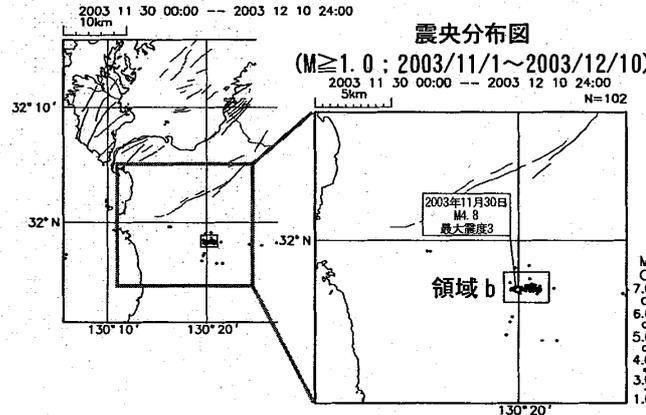
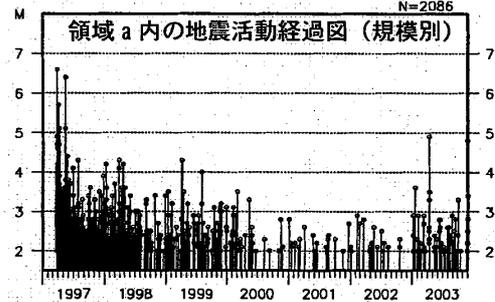
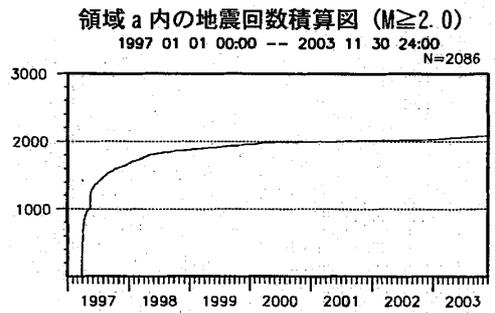
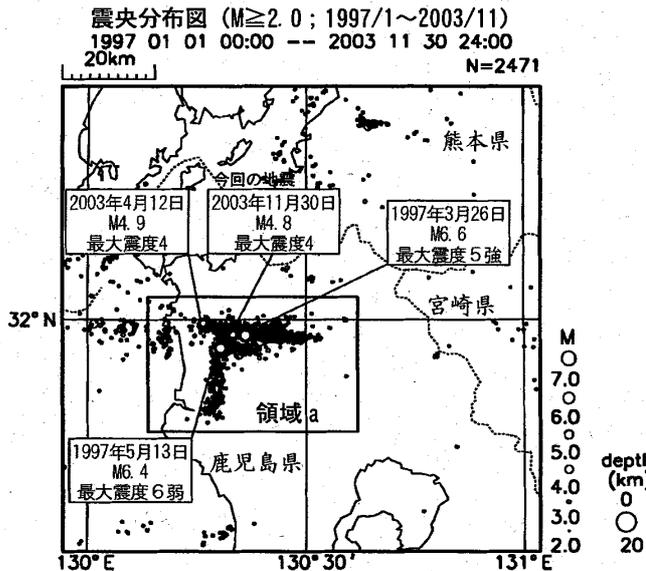
# 4月21日 日向灘の地震



第2図 日向灘の地震活動

Fig.2 Seismic activity in the Sea of Hyuga.

# 11月30日 鹿児島県北西部 [鹿児島県薩摩地方] の地震活動

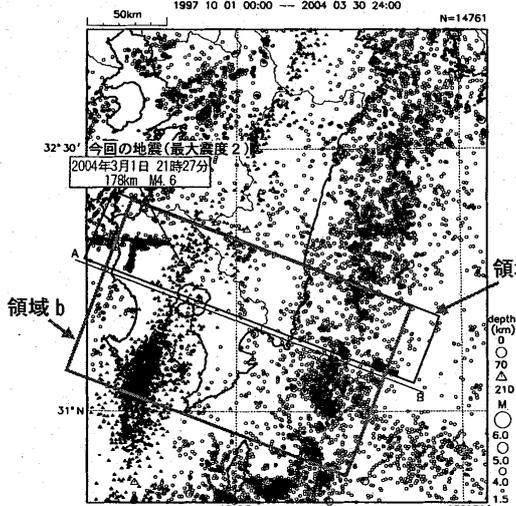


2003年11月30日に鹿児島県北西部[鹿児島県薩摩地方]の深さ10kmでM4.8(最大震度4)の地震が発生した。  
今回の地震は、1997年3月の地震(M6.6、最大震度5強)と同年5月の地震(M6.4、最大震度6弱)の余震域内に位置している。  
発震機構は、北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、この地域でよくみられるものである。  
\* [鹿児島県薩摩地方] は気象庁が情報発表に用いる震央地名である。

第3図(a) 鹿児島県北西部 [鹿児島県薩摩地方] の地震活動  
Fig.3(a) Seismic activity in the northwestern part of Kagoshima prefecture [Satsuma region, Kagoshima prefecture].

# 3月1日 鹿児島県の<sup>やや</sup>稍深発地震

震央分布図(1997年10月以降、 $M \geq 1.5$ )

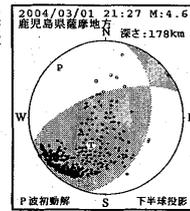


2004年3月1日07時59分に鹿児島県の深さ178 kmでM4.6(最大震度2)の地震が発生した。余震は観測されていない。

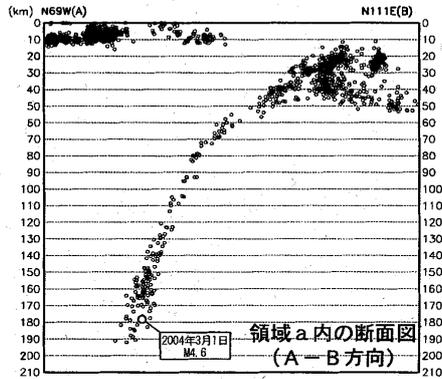
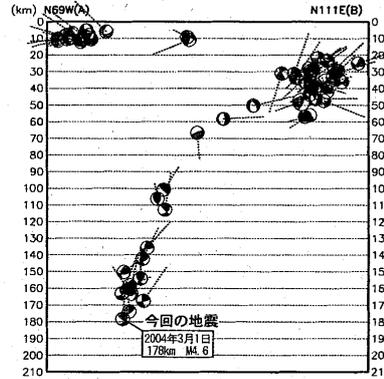
発震機構はフィリピン海プレートの沈み込む鉛直方向に張力軸を持つ型(ダウンディップエクステンション型)で、この付近の深い地震では典型的である。

九州地方の稍深発地震では、1909年に宮崎県の深さ150 kmでM7.6(最大震度5)の地震が発生し、死者2名の被害を伴った。

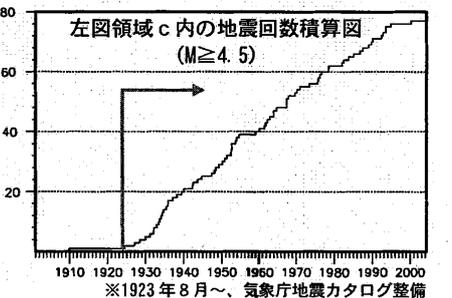
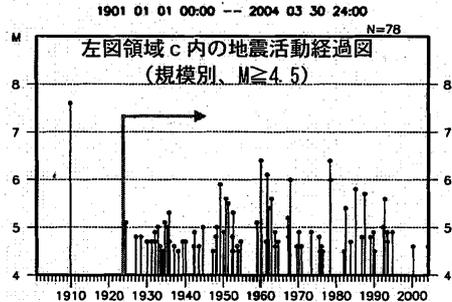
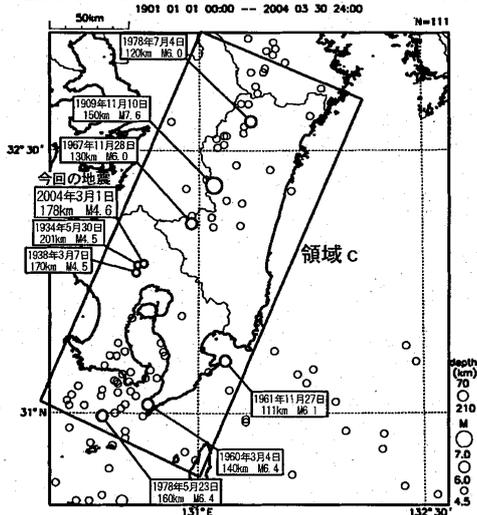
今回の地震の発震機構(参考解)



領域b内の発震機構断面図(A-B方向、T軸表示、1984年以降、 $M \geq 3.5$ 、参考解を含む)



震央分布図(1909年以降、 $M \geq 4.5$ 、70 km以深)



第3図(b) 鹿児島県北西部[鹿児島県薩摩地方]の地震活動

Fig.3(b) Seismic activity in the northwestern part of Kagoshima prefecture [Satsuma region, Kagoshima prefecture].